日本海事史学会 第431回 例会（Web例会#49）　参加費無料

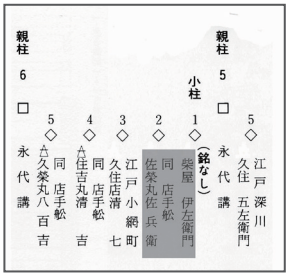
続 尾州小野浦（愛知県知多郡美浜町）廻船の歴史
—「久住＊」一統手船との関わり—

■講師：樋口（ひぐち） 茂生（しげお）

2025年5月24日（土）14:00～16:00　Zoomにて開催（ルームオープン 13:30）

【写真】小野浦の千石船型山車（2023年10月3日 報告者撮影）

【図1】能登国福浦港佐渡屋「諸国客船帳」
（「富来町史続資料編」p.1029）
「尾刕 小野浦 久住 （△船印）久栄丸 八百吉」



【図2】絵馬堂前玉垣
（「金毘羅庶民信仰資料集第2巻」p.207-208）
親柱5、小柱5「同店手船（△船印）久栄丸 八百吉」

前報（第409回例会）は、小野浦廻船の存在を証明する目的で、5港の客船帳を根拠に同廻船の日本海側進出を明らかにした。その中で、「久住」の船印（図1中の△一三角印）に注目を促した。一方、同廻船の記録を残す石造物として、金毘羅宮「永代講」玉垣（香川県）を対象に調査研究した。

これまでに、同「船印」刻印（現状では改修により削除、文献によった）の存在や「久住店手船」（図2）に着目した研究はない。図2中の記録：「△一三角印 久栄丸 八百吉」は図1にも全く同じ部分があるが、なぜであろう。また「久住」一統の手船形式による廻船運航の展開はよく知られておらず、新たな問題提起になろう。他に、江戸店や白子店からの小野浦転入の事実も発見された。詳細は例会で述べる。

〔＊注〕久住は「江戸店持伊勢商人」である。

■樋口 茂生（ひぐち しげお）日本海事史学会会員　千葉県の元環境系研究者。

●関心をお持ちの方ならどなたでもご参加いただけます。
メールでお申し込みください。
※希望者多数の場合は抽選とさせていただきます。
お申込みいただいた方には5月21日（水）までにご連絡いたします。
●会員にはメールでご案内をお送りしています。
メールが届いていない方は、右の申込先までお問合せください。

■申込〆切：2025年5月20日（火）正午（12:00）
■申込先：kaijishi.web@gmail.com（担当：大野）
メールの件名を「日本海事史学会Web例会申し込み（非会員）」として、本文にはお名前をお書きください。

日本海事史学会は、海事一般に関する歴史・法律・民俗・水産・考古・船舶・航海・海運など、海事史だけにとどまらずひろく海の人文学、社会科学等あらゆる分野に関心を持つ学界や在野の研究者の方々の交流をはかる総合研究の“場”です。

【主な活動】専門学術誌『海事史研究』の発行（年1回）／総会（年1回）・例会（8月と総会開催月を除く年10回）など

The Japan Society for Nautical Research　ご入会随時受付中　https://kaijishi.jp/

〒104-0043　東京都中央区湊2丁目12番6号 湊SYビル3F 日本海事広報協会気付　メール：kaijishi.info@gmail.com